

経済学・経済政策

令和4年度 中小企業診断士1次試験

本試験 第3問

オ 持ち家の帰属家賃や農家の自家消費は、市場において対価の支払いを伴う取引が実際に行われているわけではないが、家計最終消費支出に含まれる。(○)

本試験 第5問

生産物市場の均衡条件が、次のように表されたとする。

生産物市場の均衡条件	$Y = C + I + G$
消費関数	$C = 10 + 0.8Y$
投資支出	$I = 30$
政府支出	$G = 60$

ただし、 Y は所得、 C は消費支出、 I は投資支出、 G は政府支出である。

いま、貯蓄意欲が高まって、消費関数が $C = 10 + 0.75Y$ になったとする。このときの政府支出乗数の変化に関する記述として、最も適切なものはどれか。

- ア 貯蓄意欲が高まったとしても、政府支出乗数は4のままであり、変化しない。(×)
イ 貯蓄意欲が高まったとしても、政府支出乗数は5のままであり、変化しない。(×)
ウ 貯蓄意欲の高まりによって、政府支出乗数は4から5へと上昇する。(×)
エ 貯蓄意欲の高まりによって、政府支出乗数は5から4へと低下する。(○)

2022年合格目標 TAC教材

1次完成答練② 第3問

国内総生産（GDP）に含まれるものとして、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。

- a 家政婦の行う家事労働 (○)
b 持ち家の帰属家賃 (○)
c 保有する資産の値上がりによって得た売却益 (×)
d 警察や行政などの公共サービス (○)

〔解答群〕

- ア aとb (×)
イ aとbとd (○)
ウ bとc (×)
エ bとd (×)
オ cとd (×)

1次完成答練② 第7問

家計、企業、政府から構成される閉鎖経済モデルを考える。各記号は、 Y :総需要、 F :GDP、 C :民間消費支出、 I :民間投資支出、 G :政府支出、 T :租税収入を意味し、単位は兆円とする。

総需要	$F_D = C + I + G$
消費関数	$C = 0.8(Y - T) + 30$
租税収入	$T = 0.25F - 20$
民間投資支出	$I = 60$
政府支出	$G = 40$

このモデルに関する記述として最も適切なものの組み合わせを下記の解答群から選べ。

- a 均衡 GDP は 365 兆円である。(○)
b 均衡 GDP は 380 兆円である。(×)
c 民間投資支出が 2 兆円増加すると、均衡 GDP は 10 兆円増加する。(×)
d 政府支出を 2 兆円増加すると、均衡 GDP は 5 兆円増加する。(○)

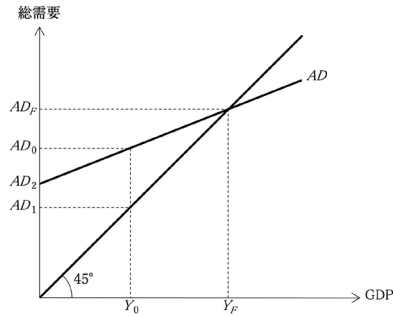
〔解答群〕

- ア aとc (×)
イ aとd (○)
ウ bとc (×)
エ bとd (×)

本試験第6問（設問1）

下図は、45度線図である。この図において、総需要は $AD = C + I + G$ （ただし、 AD は総需要、 C は消費支出、 I は投資支出、 G は政府支出）、消費関数は $C = C_0 + cY$ （ただし、 C_0 は基礎消費、 c は限界消費性向（ $0 < c < 1$ ）、 Y はGDP）によって表されるとする。図中における Y_F は完全雇用GDP、 Y_0 は現実のGDPである。

この図に基づいて、下記の設問に答えよ。



〔設問1〕

この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

- a 総需要線 AD の傾きは、 c に等しい。(○)
- b 投資支出1単位の増加によるGDPの増加は、政府支出1単位の増加によるGDPの増加より大きい。(×)
- c 総需要線 AD の縦軸の切片の大きさは、 C_0 である。(×)

〔解答群〕

- | | | | |
|---|------|------|----------|
| ア | a: 正 | b: 正 | c: 誤 (×) |
| イ | a: 正 | b: 誤 | c: 正 (×) |
| ウ | a: 正 | b: 誤 | c: 誤 (○) |
| エ | a: 誤 | b: 正 | c: 誤 (×) |
| オ | a: 誤 | b: 誤 | c: 正 (×) |

本試験 第10問

- c 自然失業率仮説によると、短期的には失業とインフレ率の間にトレード・オフの関係は存在しない。(×)
- d 自然失業率仮説によると、長期的には失業とインフレ率の間にトレード・オフの関係は存在しない。(○)

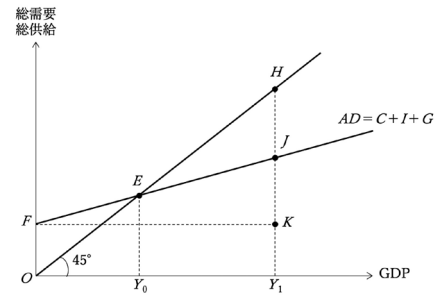
1次公開模試 第7問

下図は45度線図である。各記号は、 AD :総需要、 F :GDP、 C :消費、 C_0 :基礎消費、 c :限界消費性向（ $0 < c < 1$ ）、 I :投資、 G :政府支出を意味する。

総需要は $AD = C + I + G$ 、消費は $C = C_0 + cY$ によって表されるものとする。

この図に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。

7



- a GDPが Y_0 のとき、総需要と総供給はともに EY_0 である。(○)
- b 図中で基礎消費の大きさは OF で表される。(×)
- c 図中で政府支出の大きさは OF で表される。(×)
- d 図中で限界消費性向の大きさは $\frac{JK}{FK}$ で表される。(○)
- e GDPが Y_1 のとき、超過需要が発生している。(×)

〔解答群〕

- ア aとbとd (×)
 イ aとcとe (×)
 ウ aとd (○)
 エ bとdとe (×)
 オ cとe (×)

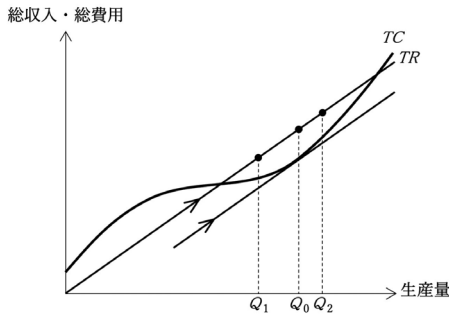
1次上級答練 第19問

- エ 自然失業率仮説では、短期、長期ともに失業率は自然失業率で一定と考える。(×)

本試験 第15問

利潤最大化を達成するための最適生産について考えるためには、総収入と総費用の関係を見ることが重要である。下図には、総収入曲線 TR と総費用曲線 TC が描かれている。

この図に基づいて、下記の設問に答えよ。



(設問 1)

費用関数に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

- a 総費用曲線 TC の縦軸の切片は、固定費用に等しい。(○)
- b 平均費用が最小値を迎えるところでは、限界費用と平均費用が一致する。(○)
- c 生産量の増加に比例して、平均費用も増加していく。(×)

〔解答群〕

- | | | | |
|---|------|------|----------|
| ア | a: 正 | b: 正 | c: 正 (○) |
| イ | a: 正 | b: 正 | c: 誤 (×) |
| ウ | a: 正 | b: 誤 | c: 誤 (×) |
| エ | a: 誤 | b: 正 | c: 正 (×) |
| オ | a: 誤 | b: 誤 | c: 正 (×) |

(設問 2)

利潤に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

- a Q_1 の生産量では、価格が限界費用を上回っており、生産を増やせば利潤が増加する。(○)
- b Q_0 の生産量では、総収入曲線の傾きと、総費用曲線の接線の傾きが等しくなっており、利潤最大化と最適生産が実現している。(○)
- c Q_2 の生産量では、限界費用が価格を上回っており、生産を減らせば利潤が増加する。(○)

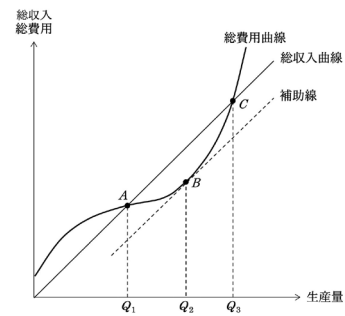
〔解答群〕

- | | | | |
|---|------|------|----------|
| ア | a: 正 | b: 正 | c: 正 (○) |
| イ | a: 正 | b: 正 | c: 誤 (×) |
| ウ | a: 正 | b: 誤 | c: 正 (×) |
| エ | a: 誤 | b: 正 | c: 正 (×) |
| オ | a: 誤 | b: 正 | c: 誤 (×) |

1 次完成答練② 第18問

下図は、ある財を生産する完全競争企業の短期の総収入曲線と総費用曲線を表したものである。総収入曲線と総費用曲線は点 A および点 C で交差している。また、補助線は総収入曲線と平行であり、総費用曲線に接している。この図に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。

19



- a 生産量がゼロのとき、当該企業は固定費用分の損失が発生している。(○)
- b 生産量が Q_1 のとき、価格と平均費用が一致する。(○)
- c 生産量が Q_2 のとき、限界費用と平均費用が一致する。(×)
- d 生産量が Q_2 のときの利潤の大きさは BQ_2 によって示される。(×)
- e 生産量が Q_3 のときの利潤の大きさは、 A 点、 B 点、 C 点を結んで形成されるレンズ型の面積の大きさによって示される。(×)

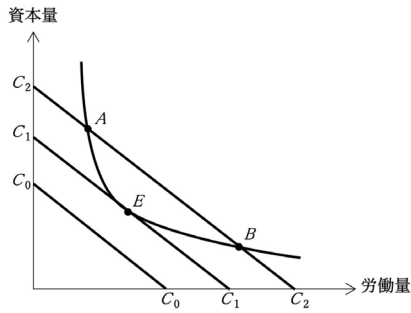
〔解答群〕

- | | |
|---|---------------|
| ア | a と b (○) |
| イ | a と c と d (×) |
| ウ | a と d (×) |
| エ | b と d と e (×) |
| オ | b と e (×) |

本試験 第16問

財の生産においては、労働や資本といった生産要素を効率的に投入することが必要となる。下図では、最適な生産要素の投入量を考えるために、等産出量曲線と等費用線が描かれている。

この図に基づいて、下記の設問に答えよ。



〔設問1〕

等費用線に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

- a 等費用線の傾きは、賃金率が下落するほど、急勾配に描かれる。(×)
- b 費用が増加すると、等費用線 C_0C_0 は、 C_1C_1 へとシフトする。(○)
- c 縦軸の切片の値は、資本のみを投入する場合の費用を示している。(×)

〔解答群〕

- ア a: 正 b: 正 c: 誤 (×)
- イ a: 正 b: 誤 c: 正 (×)
- ウ a: 正 b: 誤 c: 誤 (×)
- エ a: 誤 b: 正 c: 正 (×)
- オ a: 誤 b: 正 c: 誤 (○)

本試験 第20問

世界経済が低迷する中、国際的な政策協調が必要とされている。

いま、隣り合うA国とB国が「環境保護」と「経済成長」を目的とする政策を選択する。

下表は、両国の利得表であり、カッコ内の左側がA国の利得、右側がB国の利得を示している。

このゲームに関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

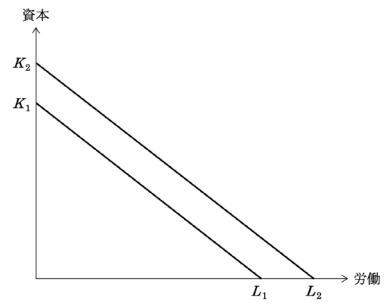
		B国	
		環境保護	経済成長
A国	環境保護	(500, 500)	(-500, 1,000)
	経済成長	(1,000, -500)	(0, 0)

〔解答群〕

- ア このゲームでは、A国が「環境保護」を優先させる政策を選べば、B国は「経済成長」を優先させる政策を選ぶ方がよい。(○)
- イ このゲームでは、両国が協調して「環境保護」を優先させる政策を選べば、利得をさらに高めるために、戦略を変える必要はない。(×)
- ウ このゲームにおけるA国の最適反応は、「環境保護」を優先させる政策を選ぶ場合である。(×)
- エ このゲームのナッシュ均衡は、両国が「環境保護」を優先させる政策をとる組み合わせと、両国が「経済成長」を優先させる政策をとる組み合わせの2つである。(×)

1次完成答練① 第19問

下図には等費用線 K_1L_1 と K_2L_2 が描かれている。この図に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。 21



〔解答群〕

- ア 等費用線 K_1L_1 は、賃金率および資本のレンタル価格が一定で、費用が増加すると K_2L_2 へと平行移動する。(○)
- イ 等費用線 K_1L_1 は、賃金率が一定で、資本のレンタル価格が下落した場合、 K_2L_2 へと平行移動する。(×)
- ウ 等費用線 K_1L_1 は、賃金率が上昇し、資本のレンタル価格が一定の場合、 K_2L_2 へと平行移動する。(×)
- エ 等費用線 K_1L_1 は、資本のレンタル価格の上昇と同じ割合で賃金率が上昇すれば、 K_2L_2 へと平行移動する。(×)

1次公開模試 第23問

下の表は企業Aと企業Bがそれぞれ高価格と低価格の2つの戦略を持つゲームを示した利得表である。表のカッコ内の左側の数字が企業Aの利得、右側の数字が企業Bの利得を示す。また、このゲームは1回限りゲームであるものとする。この状況に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。 24

		企業B	
		高価格	低価格
企業A	高価格	(15, 15)	(5, 20)
	低価格	(20, 5)	(8, 8)

〔解答群〕

- ア 非協調的な企業Aと企業Bが採る戦略は、両社の利得合計が最大となる「高価格、高価格」である。(×)
- イ 企業Aには支配戦略があるが、企業Bには支配戦略はない。(×)
- ウ ナッシュ均衡解は「低価格、低価格」であり、この組み合わせではパレート効率的配分が実現する。(×)
- エ 両企業にとっての最適反応は、ともに「低価格」を選択する場合である。(○)
- オ 両企業が「低価格」を選択した場合、どちらか一方の企業が「高価格」を選択すると、その企業の利得は増加する。(×)

本試験 第21問

情報の非対称性をもたらす逆選択に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

- a 自動車保険における免責事項には、保険の契約後に生じる逆選択を減らす効果が期待できる。(×)
- b 医療保険制度を任意保険ではなく強制保険にすることには、病気になるリスクの高い人のみが医療保険に加入するという逆選択を減らす効果が期待できる。(○)
- c 企業が新たに従業員を雇う際に、履歴書だけではなく、その応募者のことをよく知っている人からの推薦状を求めることには、見込み違いの従業員を雇ってしまうという逆選択を減らすことが期待できる。(○)

〔解答群〕

- | | | | |
|---|-----|-----|--------|
| ア | a：正 | b：正 | c：誤(×) |
| イ | a：正 | b：誤 | c：正(×) |
| ウ | a：誤 | b：正 | c：正(○) |
| エ | a：誤 | b：正 | c：誤(×) |
| オ | a：誤 | b：誤 | c：正(×) |

1次公開模試 第24問

情報の非対称性に由来する逆選択に該当するものとして、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。 25

- a 公的資金の導入により、金融機関が経営努力を行わなくなる。(×)
- b 保険加入により加入者が不摂生となり、病気の確率が上がる。(×)
- c 保険契約において、病気がちな人しか保険に加入しなくなる。(○)
- d 中古車市場において、性能の良い中古車が姿を消し、性能の悪い中古車ばかりになる。(○)
- e 株主が経営者の働き具合を監視できないために経営者が放漫な経営を行う。(×)

〔解答群〕

- | | |
|---|----------|
| ア | aとbとc(×) |
| イ | aとd(×) |
| ウ | bとcとe(×) |
| エ | cとd(○) |
| オ | cとdとe(×) |